

市町村名：胆沢町

学校名：胆沢町立若柳小学校

担当者名：千葉 敬

学校における特色ある食育実践事例の紹介

教科名等	総合的な学習の時間、生活科等				
単元名等	「食と農、命を考える活動」				
取組学年	全学年	取組時期	5月～11月	毎年実施の有無	有
取組内容	<p>○ 生活科や総合的な学習の時間、各教科等を関連させ、学年の発達段階に応じて食物の生産から栄養を考えて食べることの大切さを学ぶことを目的として実施している。</p> <p>1 全学年による農園活動</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学年毎に育てる野菜を決め、苗植え、除草、水やり等の栽培活動を児童が行っている。・ 収穫した野菜は、各学年で調理し、収穫までの苦労や実ってくれた農作物に感謝しながらみんなで味わっている。 <p>2 農業高校での体験学習（1・2年 生活科）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生き物を育て、食料を生産することの大切さをふれあいをとおして学ぶことを目的として行っている。 <p>《児童の感想から》</p> <ul style="list-style-type: none">・ 乳搾りをしてみてお乳が温かかった。・ 牛に餌をあげました。私の手をなめました。かわいかったです。・ 牛に餌をやったとき顔を触りました。少しふわふわでした。 <p>3 学校栄養職員とのTT授業（5年 家庭科）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 米やご飯に関心を持ち、その特徴や栄養について理解させるため、学校栄養職員とのTTによる授業を行っている。・ 白米、玄米、胚芽米を調べ、色や形、においや堅さ、味等の違いに気付かせた。・ 白米、玄米、胚芽米を炊いて食べ比べ、それぞれの栄養や良さについて理解させ、バランスよく食べることの大切さを確認した。・ 各学年の給食時には学校栄養職員による食材や栄養等についての栄養指導を行っている。				
本取組を行っている理由	本校は、胆沢扇状地に位置し、県内有数の穀倉地帯である。児童のほとんどの家庭では農業を営んでおり、穀物や野菜づくりが盛んな地域である。しかし、自らの食生活に関心をもっている児童は少ない。そこで、地域とふれあい、地域に伝わる食文化や農業について考え、また、自らの食生活を考える機会として本取組みを行っている。				

